

# 令和3年度 釧路地区中学校体育連盟体育大会バレーボール大会 兼 第51回北海道中学校バレーボール大会予選 開催要項

1. 主催 釧路地区中学校体育連盟
2. 主管 釧路地区中学校体育連盟バレーボール専門委員会, 釧路バレーボール協会中学校委員会
3. 会期 令和3年7月3日(土), 7月4日(日)
4. 会場 釧路町総合体育館(A・B・Cコート)
5. 日程

7月3日(土)	釧路町総合体育館	7月4日(日)	釧路町総合体育館
7:45	指導者集合	8:00	指導者集合
8:25	開場, Aブロック入場	8:25	開場, イ①②入場
8:30	Bブロック入場	8:30	ロハ④⑤入場
8:45	監督会議	8:45	監督会議
9:20	A・Bブロック競技開始	9:20	競技開始
13:25	Cブロック入場	11:30	ニ③入場
13:30	Dブロック入場	試合終了後	閉会式
14:20	C・Dブロック競技開始		

## 6. 参加資格

- (1) 釧路地区中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長が出場を認めた生徒とする。
- (2) 年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、事前に釧路地区中学校体育連盟事務局に問い合わせること。
- (4) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。マネージャーは当該学校の教員または生徒とする。
- (5) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。
- (6) 外部指導者(コーチ)は、当該学校の校長が認めた者で釧路地区中学校体育連盟に登録された者とする。  
※外部指導者(コーチ)の押さえと権限については、北海道中学校体育連盟事務局より提示された下記の「令和3年度 北海道中学校体育大会における外部指導者(コーチ)の押さえと権限」のバレーボールの項目に従う。

### ベンチ入りについて

要項, ルールにある通りベンチに入ることができる。又, 試合直前の公式練習での実技指導も可能である。

### コーチ権限について

- ・監督に事故があった時など不在の時には、ゲームキャプテンの申し出により、その代行を行うことができる。
- ・監督会議への出席やゲーム中の異議申し立てはできない。
- ・他はルール通りの規定で実施する。

- (7) チームは単一学校の生徒で編成されたものであること。但し、地区中体連会長が認めた合同チームはその限りではない。複数校合同チームの引率・監督は出場校の校長または教員があたるものとする。ただし、やむを得ない場合は代表監督・引率を認める。
- (8) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取扱について了承するものとする。
- (9) 選手の参加制限について
  - ① 茶髪, 脱色など髪や装飾品(ピアス・マニキュア・ネックレスなど)を身につけている生徒は、登録選手として認めない。
  - ② その他, 専門委員会で協議の上, 出場が望ましくないと判断された選手の出場は認めない。

## 7. 登録人数

- (1) チームは、監督1名, コーチ1名, マネージャー1名, 選手12名, 合計15名以内とする。

## 8. 大会(競技)規則および競技方法

- (1) 大会(競技)規則及び申し合わせ事項

※ルールは令和3年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。

- ① ネットの高さは、女子2m15cmとし、大会使用球は検定4号球(女子:ミカサV400W)とする。
- ② 試合間(第1試合については試合前)の練習は、最初の試合の場合は10分, そうでない場合は5分とする。
- ③ プロトコールは道中体連バレーボール専門部の方法に準じて行う。

- ④ 公式練習には登録15名以外は参加できない。
- ⑤ 2名以内のクイックモップターの配置を認める。ただし、公式メンバーではないので、モッピングのみを行うこととする。
- ⑥ スパイク練習は自チームのベンチのある側のコートから行う。
- ⑦ 当該チーム以外のセット間の練習は認めない。
- ⑧ 連続して試合を行う場合は試合間を15分あけ、フルセットの場合は20分あける。  
※連続して試合を行うチームとその相手チームが了承した場合はその限りではない。
- ⑨ 公式練習以外の時間は、ネットを使用した練習はしない。
- ⑩ 全試合、WTO（ウォータータイムアウト）を実施する。
- ⑪ 熱中症対策の一環として、団扇のベンチへの持ち込みを認める。  
※使用に関しては資料1『熱中症対応としての団扇使用』についてを参照
- ⑫ 決勝戦のみ、監督が立って行うサイドコーチを認める。
- ⑬ サブアリーナは、1日目は予選ブロック戦Bブロック⑤の位置のチームが9時00分まで使用できる。  
2日目は決勝トーナメント戦イの位置のチームが9時00分まで使用できる。サブアリーナには、両日ともネットは設営しない。

(2) 競技方法

<女子>

- ① 出場チーム  
(13チーム・19校)

市町名	学校名			
標茶町(1)	1 標茶中学校			
釧路市(8)	2 幣舞中学校	3 北中学校	4 鳥取中学校	5 共栄中学校
	6 景雲中学校	7 青陵中学校	8 大楽毛中学校	9 美原中学校
合同(4)	10 服部・新・藤・中	11 遠矢・富原中学校	12 鶴居・鳥取西中学校	13 白糠中学校・庶路学園

② 試合方法

- ア. 4チームによる1つのブロックと3チームによる3つのブロックにより予選ブロック戦を行う。
- イ. 1つのブロックにつき1チームが予選ブロック戦敗退となり、決勝トーナメント戦出場9チームを決定する。

③ 組み合わせ方法

- ア. 資料3『シード権獲得のためのポイント制について』に基づきシード校を決定する。  
※シードポイントが同点の場合には、同点の学校による抽選により、シード順位を決定する。
- イ. 第1シードを「イ」、第2シードを「ロ」、第3シードを「ハ」、第4シードを「ニ」の位置とする。
- ウ. シード校以外は抽選を行う。

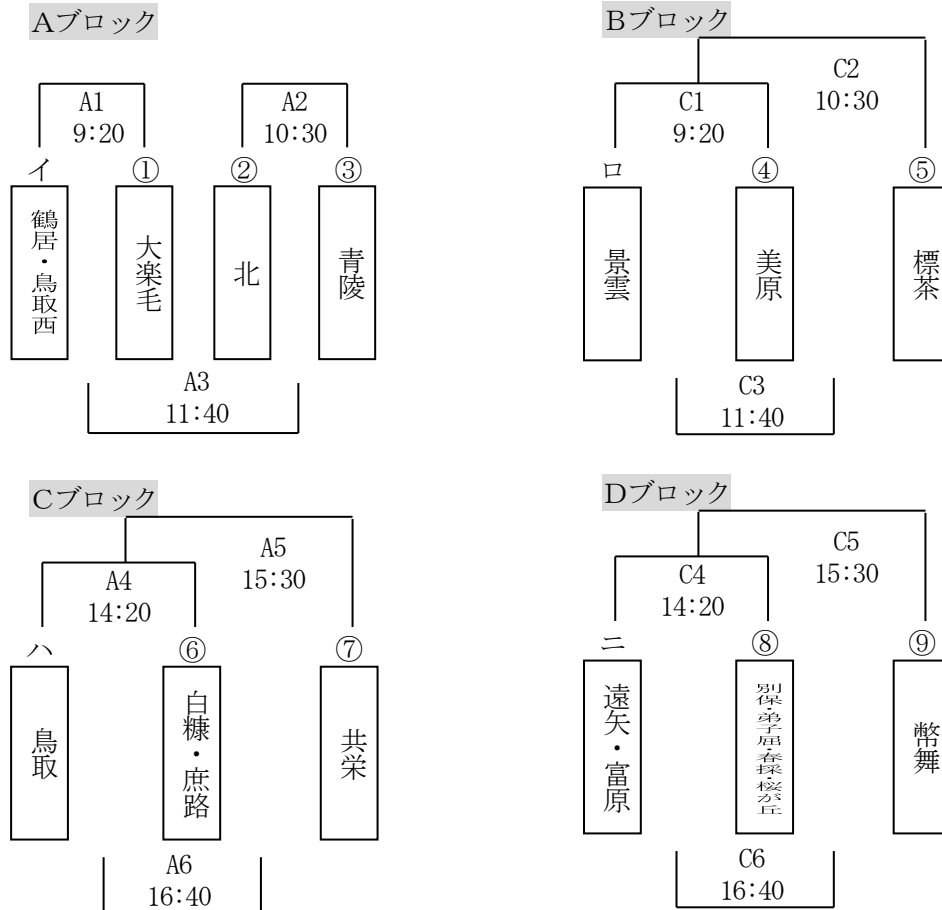
④ 抽選方法

- ア. 予選ブロック戦は6月4日の監督会議にて、決勝トーナメント戦は7月3日の予選ブロック戦終了後、釧路町総合体育館にて、それぞれ監督がクジを引く。
- イ. 予選ブロック戦
  - a. ①～⑨の予備抽選を行う。予備抽選の順は、上記「① 出場予定校」の記載順とする。
  - b. 予備抽選で決定した順に従い本抽選を行う。
- ウ. 決勝トーナメント戦
  - a. 抽選会は、予選ブロック戦終了後、予選ブロック戦を勝ち抜いた全チームの監督が参加し、釧路町総合体育館にて行う。
  - b. シード校が予選ブロック戦で敗れた場合は、そのシード校が入る位置にそのシード校に勝ったチームが替わって入る。
  - c. ①～⑤の予備抽選を行う。予備抽選の順は、下記予選ブロック戦の番号の順に行う。
  - d. 予備抽選で決定した順に従い本抽選を行う。

⑤組合せ

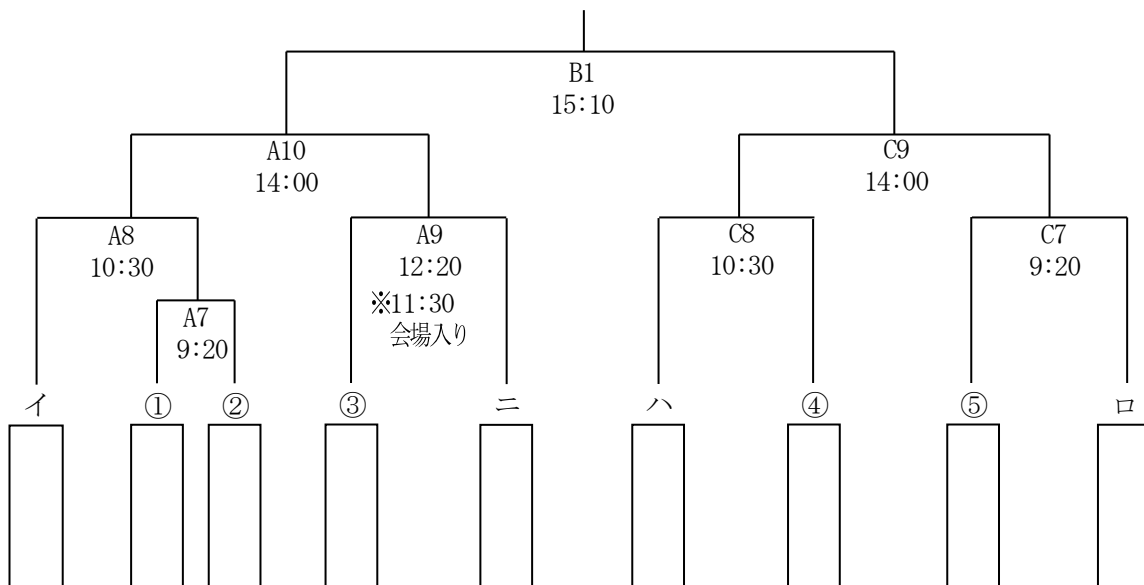
ア. 予選ブロック戦 7月3日(土) A・Cコート(釧路町総合体育館)

- ※1 A1, A2の敗者はA3で試合を行う。A1の勝者は試合終了後、会場を出る。ボール等の荷物はサブアリーナに置いていってもよい。
- ※2 C1の勝者はC2で試合を行い、C1の敗者はC3で試合を行う。
- ※3 A4の勝者はA5で試合を行い、A4の敗者はA6で試合を行う。
- ※4 C4の勝者はC5で試合を行い、C4の敗者はC6で試合を行う。



イ. 決勝トーナメント戦 7月4日(日) A・B・Cコート(釧路町総合体育館)

- ※1 準決勝(A10, C9)2試合のプロトコール開始は、同時とする。プロトコール開始時刻は、A9終了から40分後を目安とする。



## 9. 表彰

- (1) 優勝校には、優勝旗を授与する。  
※優勝旗は持ち回り。
- (2) 3位までのチームに賞状を授与する。

## 10. 全道大会への参加

- (1) 上位1チームが参加する。  
※男子については、予選を行わずに「標茶・北・春採・鳥取・景雲・青陵・鳥取西中学校」が全道大会へ参加する。

## 11. 個人情報取り扱い

- (1) 大会参加者の氏名・所属・学年は、プログラム、掲示板、ホームページへ掲載するために使用する。
- (2) 選手の大会成績および写真は、ホームページ掲載のために利用する。
- (3) 選手の生年月日、学年は年齢を確認するために利用する。

## 12. その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について

### ①生徒に関して

- ア. 参加生徒に「別紙5 参加同意書（兼動画配信承諾書）」を提出させる。
- イ. 大会前後2週間、「別紙1 健康管理表」を用いて体温や各種症状の有無を確認し、記入する。
- ウ. 会場への時間差入場
- エ. 生徒の待機場所は、チームごとにランニングコース、武道場、ホール、サブアリーナに振り分ける。  
※1日目 A・Bブロック：ランニングコース→イ①、武道場→②③、ホール→ロ④、サブアリーナ→⑤  
C・Dブロック：ランニングコース→ハ⑥、武道場→⑦、ホール→ニ⑧、サブアリーナ→⑨  
※2日目 ランニングコース→イ①②、武道場→ハ④、ホール→⑤ロ、サブアリーナ→③ニ  
※コート設営の際に、パイプ椅子に校名表示を貼り付け、各校の待機場所を明示する。
- オ. 試合間は、チーム入れ替わりのための十分な時間をとり、手指消毒なども十分に行う。
- カ. 試合前の円陣は行わない。また、ベンチの周りに集合する際は密集・接触を避ける。
- キ. 競技中を含め、ハイタッチは腕のタッチにとどめる。
- ク. ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える。
- ケ. タオル、ボトル、アイシングバッグなどは共用しない。
- コ. 試合前後の挨拶は、エンドライン上で行う。
- サ. ボールはセット中に定期的に交換し、記録席において記録の生徒がタオルで拭く。
- シ. セット間及びゲーム終了後、ベンチを消毒する。（各チームで対応）
- ス. 競技終了後、生徒が使用した場所をチームごとに指導者と一緒に消毒する。  
※各校で使用した場所は、使用した各校で消毒する。  
※それに関わる消毒用品は、各校で準備する。
- セ. 昼食をとる際は、手洗いとうがいを必ず行い、ホール以外で飲食はせず、十分な距離をとって黙食する。食事後は、食事した場所を消毒する。

### ② 審判に関して

- ア. 笛は共用しない。
- イ. 主審・副審・線審・点示・記録を行う生徒は、マスクを着用する。使用した用具は試合後、記録席で消毒する。（各チームで対応）

### ③ 保護者に関して

- ア. 無観客とする。

### ④提出物に関して

※以下の【別紙1～3, 5】は後日、中谷から要項の確定版等と併せて、各校にメールにて送付する。

- ア. 【別紙1】釧路地区中学校体育大会 「健康管理表」  
※生徒本人だけでなく、同居家族の状況確認もある。また、保護者の確認印かサインが必要。  
※6月19日から記入が始まるので、前日までに生徒へ配布する。  
※大会当日は生徒に持参させ、チームで回収、管理する。帰宅時に生徒へ返却する。
- イ. 【別紙2】釧路地区中学校体育大会 「学校同行者の健康状態報告書」  
※チーム全員の【別紙1】を確認し、A・Bいずれかの□にチェックマークを記入する。  
※Bの場合で、発熱した者や体調不良の者が大会参加を見合わせていれば、チームとしての参加は認められる。  
チームが大会参加を見合わせた場合は、必ず専門委員長（釧路市立幣舞中学校 中谷智之）へ連絡する。  
※1日目と2日目、それぞれ1枚ずつ提出。

ウ.【別紙3】釧路地区中学校体育大会「来場者体調記録表」

※チーム関係者以外の大会役員や協会の審判員が提出する。学校長が来られる場合も提出が必要。

エ.【別紙5】釧路地区中学校体育大会「参加同意書(兼動画配信承諾書)」

※原本は専門委員長に提出し、専門委員長はそれを釧路町総合体育館へ提出する。コピーは各学校で保管する。

※【別紙1】の記入が6月19日から始まるので、6月18日までにこの文書を回収する。

(2) 線審・点示・記録について

- ① 線審は的確にジャッジできる選手、記録はそれに精通した選手を出す。
- ② 予選ブロック戦については、Aブロックの第1試合は、試合のない2チームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。第2試合は第1試合の敗北チームから8名出す。第3試合は、第2試合の勝利チームから8名出す。B・C・Dブロックは試合のないチームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。人数が8人に満たないチームについては、点示、記録の人数を減らして調整する。
- ③ 決勝トーナメント戦については、A7は、イの位置のチームから8名出す。C7は、C8で対戦する2チームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。C8は、C7の勝利チームから8名出す。以降、敗退チームから8名出す。B1は、A10・C9の敗退チームから線審4名、点示2名、記録2名を出す。

(3) 会場使用等について

- ① ゴミはすべて持ち帰る。

(4) 選手名簿、構成メンバー表について

①提出期限 令和3年6月18日(金)

②提出先 選手名簿：釧路市立幣舞中学校 中谷 智之

構成メンバー表：釧路市立青陵中学校 阿部 周平

③提出方法 それぞれメールにファイルを添付して、以下のアドレスまでお送り下さい。

中谷 智之：[tomcat-1976-6-4@h3.dion.ne.jp](mailto:tomcat-1976-6-4@h3.dion.ne.jp)

件名：中体連選手名簿(学校名) → <例> 中体連選手名簿(幣舞)

※選手名簿は後日、中谷から要項の確定版等と併せて、各校にメールにて送付します。

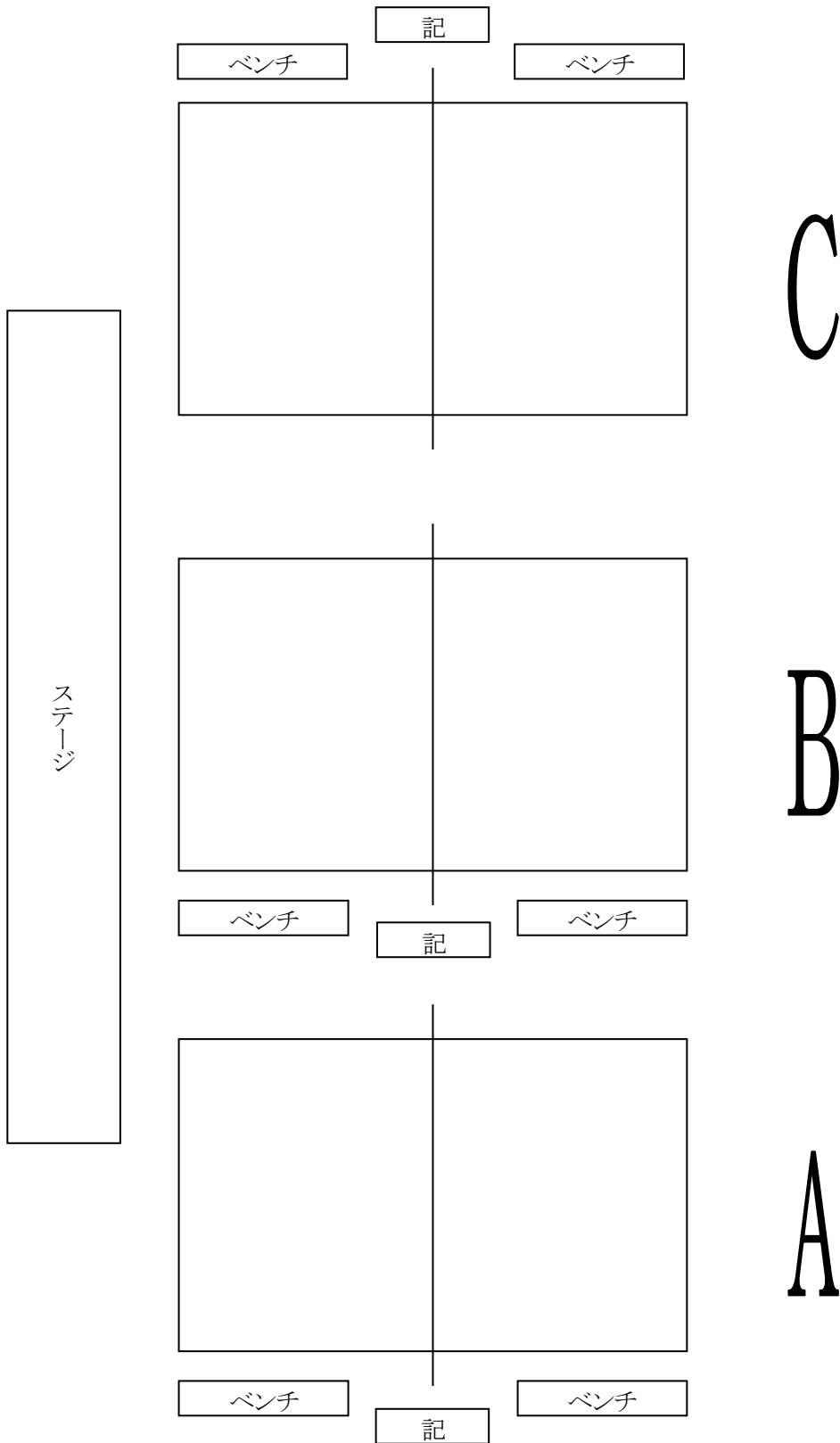
阿部 周平：[lifehouse712sa@gmail.com](mailto:lifehouse712sa@gmail.com)

件名：中体連構成メンバー表(学校名) → <例> 中体連構成メンバー表(幣舞)

※構成メンバー表(コンポジションシート)は後日、中学校委員会 競技部から各校にメールにて送付します。

(5) 会場図

① 釧路町総合体育館 (A・B・Cコート)



## (6) 歴代優勝校

回	年度	男子	女子
14	昭和59年	白糠町立白糠中学校	白糠町立白糠中学校
15	昭和60年	白糠町立白糠中学校	白糠町立白糠中学校
16	昭和61年	白糠町立白糠中学校	釧路市立桜が丘中学校
17	昭和62年	白糠町立白糠中学校	白糠町立白糠中学校
18	昭和63年	白糠町立白糠中学校	釧路市立桜が丘中学校
19	平成元年	白糠町立白糠中学校	釧路市立緑陵中学校
20	平成2年	白糠町立白糠中学校	白糠町立白糠中学校
21	平成3年	白糠町立白糠中学校	白糠町立白糠中学校
22	平成4年	釧路市立春採中学校	釧路市立鳥取西中学校
23	平成5年	釧路市立緑陵中学校	釧路市立鳥取西中学校
24	平成6年	釧路市立鳥取西中学校	釧路町立富原中学校
25	平成7年	釧路市立鳥取西中学校	釧路町立富原中学校
26	平成8年	釧路市立鳥取西中学校	釧路市立景雲中学校
27	平成9年	釧路市立春採中学校	釧路市立景雲中学校
28	平成10年	釧路町立富原中学校	釧路市立北中学校
29	平成11年	弟子屈町立弟子屈中学校	釧路市立北中学校
30	平成12年	弟子屈町立弟子屈中学校	釧路市立北中学校
31	平成13年	弟子屈町立弟子屈中学校	釧路市立景雲中学校
32	平成14年	弟子屈町立弟子屈中学校	釧路市立景雲中学校
33	平成15年	釧路町立富原中学校	釧路市立景雲中学校
34	平成16年	釧路町立富原中学校	釧路市立北中学校
35	平成17年	釧路町立富原中学校	釧路市立北中学校
36	平成18年	白糠町立白糠中学校	釧路町立富原中学校
37	平成19年	弟子屈町立弟子屈中学校	釧路市立北中学校
38	平成20年	弟子屈町立弟子屈中学校	釧路市立北中学校
39	平成21年	富原・弟子屈・白糠中学校	釧路市立北中学校
40	平成22年	白糠町立白糠中学校	釧路市立北中学校
41	平成23年	富原・庶路・春採・景雲・桜が丘・大楽毛中学校	釧路市立鳥取中学校
42	平成24年	白糠町立白糠中学校	釧路市立桜が丘中学校
43	平成25年	景雲・大楽毛・桜が丘中学校	釧路市立北中学校
44	平成26年	別保・景雲・大楽毛・青陵・美原・茶路中学校	釧路市立鳥取西中学校
45	平成27年	富原・春採・美原中学校	釧路市立鳥取西中学校
46	平成28年	富原・弟子屈・幣舞・春採・景雲・美原中学校	釧路市立鳥取西中学校
47	平成29年	富原・弟子屈・幣舞・春採・鳥取・景雲・青陵中学校	釧路市立鳥取西中学校
48	平成30年	別保・富原・幣舞・北・春採・鳥取・景雲・青陵・阿寒中学校	白糠町立白糠中学校・庶路学園
49	令和元年	別保・遠矢・北・景雲・青陵中学校	釧路市立鳥取中学校
50	令和2年		
51	令和3年		

資料1 『(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについて』

(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部

1 ベンチマナーの観点により、現在まで団扇の使用を禁止してきた経緯がある。しかし、現在熱中症対策が必要不可欠な課題である。そのため熱中症予防の観点から、(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部が主催する大会で「熱中症対策としての団扇使用」を採用する場合、次のように取り扱うこととする。

- ① 使用は、セット間・タイムアウト・給水タイムアウトのみとする。
  - ② 使用場所は、アップゾーンやベンチ周辺とする。
  - ③ 団扇の数には制限はないが、チームスタッフ及びリザーブ選手が保持することなく、ベンチもしくはアップゾーンで保管すること。
  - ④ 団扇の大きさには規定を設けないが、極端に大きなものは使用しない。
  - ⑤ 団扇にチームのロゴ等が記載されていても構わないが、装飾としての使用は認めない。
- ※①～⑤は、チームスタッフ及びリザーブ選手にも適応する。

各ブロック・各都道府県大会等で、開催要項に「給水のためのタイムアウト」を採用している場合において「団扇使用」を認めることとする。

以 上



## 資料2 『シード権獲得のためのポイント制について』

### 1. 目的

当該年度の上位チームの地区中体連におけるシードを適切に行うことを目的とする。

### 2. シード校数

- (1) 4校シードを基本とするが、下記ポイント制の基準に満たない場合には、専門委員長が地区中体連監督会議時に提案し、専門委員会で協議・決定する。

### 3. シード権獲得ポイント制基準について

- (1) 下記のポイント制により、9ポイント以上獲得しているチームがシード権を有するものとする。  
 (2) 複数校合同チームが得たポイントは、チームを構成するそれぞれの学校がそのポイントを有するものとし、複数校合同チームを解散した場合もそのポイントは有効とする。  
 (3) 下記のポイント制により、9ポイント以上獲得しているチームが4チームに満たない場合には、専門委員長が地区中体連監督会議時に提案し、専門委員会で協議・決定する。  
 (4) 獲得したポイントの合計が同じ場合は、抽選によりシード順を決定する。

大会名	1位	2位	3位
会長杯	4点	3点	2点
選手権大会	5点	4点	3点
教育長杯	6点	5点	4点

### 4. ポイントとシード校

#### (1) 大会結果

大会名	1位	2位	3位
会長杯	鳥取 (4点)	鶴居・鳥取西 (3点)	遠矢・富原 (2点)
			景雲 (2点)
選手権大会	景雲 (5点)	鶴居・鳥取西 (4点)	鳥取 (3点)
			遠矢・富原 (3点)
教育長杯	鶴居・鳥取西 (6点)	景雲 (5点)	鳥取 (4点)
			遠矢・富原 (4点)

#### (2) 各校ポイント

①鶴居・鳥取西 13点    ②景雲 12点    ③鳥取 11点    ④遠矢・富原 9点

#### (3) シード校

①第1シード：イ 鶴居・鳥取西                      ②第2シード：ロ 景雲  
 ③第3シード：ハ 鳥取                                      ④第4シード：ニ 遠矢・富原